

メールニュース

No.22-61
2022年 11月14日

安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

11・13 東京大集会

横田基地にオスプレイはいらない

日本から全機撤去 岸田大軍拡に反対

「横田基地にオスプレイはいらない」
11・13 東京大集会が 13 日、東京・福生市の多摩川中央公園で首都圏を中心に 900 人が参加して開かれました。集会に先立ち、青年による平和運動スピーチがおこなわれました。

集会主催者の「オスプレイ反対東京連絡会」を代表して東京地評の矢吹義則議長があいさつし、「横田基地周辺の住民には、米軍の欠陥機オスプレイによる墜落や低空飛行訓練への不安、騒音被害などが出ている。横田にも日本のどこにもオスプレイはいらない」と訴えました。

メインスピーチでは、横田基地撤去を求める西多摩の会の崔田一忠事務局長が「他国に侵入し暗殺・拉致・強襲を任務とする特殊作戦部隊と CV22 オスプレイは、横田から撤去させよう」と呼びかけました。日本平和委員会の千坂純事務局長は「欠陥機であることが明確になったオスプレイは日本から撤去し、岸田政権の大軍拡をやめさせよう。そのために



東京・福生市の多摩川中央公園での11・13東京大集会

日本平和大会への参加を」と訴えました。安保破棄東京実行委員会の岸本正人事務局長が集会アピールを提案し、採択されました。

日本共産党の田村智子参議院議員と、社会民主党東京都連の青山英雄昭島市議が連帯あいさつをおこないました。

集会後、参加者は横田基地に向けて、「オスプレイの配備反対」「岸田大軍拡は許さない」などとシュプレヒコールをおこない、アピール行進をしました。

集会には安保破棄中央実行委員会からも参加しました。



PFAS の濾出が懸念される東京・米軍横田基地

検査は国分寺、小平、小金井、武蔵野、西東京の5市の希望する住民を対象に国分寺市の本町クリニックで検査を開始します。5市以外の検査も順次実施し来年以降に結果の公表をめざしています。PFAS は、米軍が使用した泡消火剤に含まれ、米軍基地周辺で漏出が发觉し、沖縄県では普天間や嘉手納基地、神奈川県は厚木や横須賀の基地でも確認され、地元住民から批判が出ています。

東京都多摩地域の水道水に使われていた井戸水で検出された発がん性疑いの有機フッ素化合物（PFAS）の住民への影響を調べ、析を担う京都大の原田浩二准教授ら大規模血液検査が市民団体によって11月23日から地域住民数百人を対象に始まります。PFAS の検出は全国各地の米軍基地周

PFAS 問題

東京・多摩地域で大規模血液検査

横田基地への立ち入り調査を

地下水に染み出る有毒物質が

お知らせ

○ 11月30日(水)

・ 辺野古新基地中止・オスプレイ配備撤回 署名提出行動

14 時～衆議院第 1 議員会館第 5 面談室

・ 大軍拡・改憲反対など 総がかり行動実行委員会の集会

18 時 30 分～日比谷野外音楽堂 集会後、アピール行進

安保破棄中央実行委員会の 11 月宣伝

11 月 22 日 (火) 12 時～新宿駅西口 参加をお願いします。